

関西聚 活動報告書

活動名：自然学習ゾーン整備

活動日：2021.10.24(日)13:30～15:00

リーダー名：伊東 俊廣

報告者：伊東 俊廣

参加者：スタッフ7人、お手伝い(岡さん)、参加者5人、美交工業1人 合計14人

スタッフ：大川 英登、上田 泰史、山本 勲、東川 悞、林 俊、藤浦 真由美、伊東 俊廣

参加者：大人2名、子供3名

活動内容：

1. 調査

昆虫：22種確認

草本 昆虫保護ゾーン：23種確認

ギャップゾーン：10種確認

2. 昆虫保護ゾーンの除草作業

- ・セイトカアワダチソウ、ヨモギの引き抜き除草
- ・その他草の刈り込み
- ・ウマノスズクサの確認

3. バックヤードの樹木苗育成場所

- ・ススキ、ヒヨドリバナの確認
- ・コナラの苗を鉢へ移植

4. 草本調査後、自然学習ゾーンの植栽樹木の状況を確認

- ・ガマズミの赤い実、ナツハゼの黒い実が確認できた
- ・ヤマザクラは元気に育っており、来年も花見が出来そうだ



活動報告・感想など

レッツ久宝探検隊の活動に引き続き、2組の家族が参加してくれた。皆さんには昆虫保護ゾーンの除草に参加してもらったが、大変な戦力になった。セイトカアワダチソウの黄色い花もまだ残っていたが、終わってみたらほぼ無くなっていた。その代わりに、子供達の服には勲章がいっぱい。丁度イノコズチが実を付けており彼らの協力者になってしまった。

この場所には以前に石を積んでバッタ類の隠れ家を予定していたが、見当たらず持ち去られたようだ。

来年3月に予定のシイタケの菌打用原木について、モッパちゃんの森にあるコナラ(以前ナラ枯れが入ったがまだ生きている)の枝を1本伐らしてもらう要請を行う。